

令和7年度学校経営計画

学校名 東広島市立郷田小学校

校長名 上杉 政景

I 学校の状況

学級数	17	児童・生徒数	395	教職員数	39
メールアドレス	gouta-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/gouta_sho/				

II 教育目標

「みんなと のびる」 ～自ら学び 関わり 高まりあう 児童の育成～

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>【ミッション】生涯にわたって主体的に学び、多様な他者と協働し高まりあおうとする人間力を育成する (ビジョン)</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童一人一人が、自己存在感を実感し、共感的人間関係の中で「豊かな心」を育むことができる温かい学校 児童一人一人が、学ぶ楽しさを実感し、みんなと伸びる中で「確かな学力」、「たくましい体」を育む学校 教職員一人一人が、児童に対する愛情と教育に対する使命感を持ち、専門性を発揮しながら対応できる組織的な学校 「開かれた教育課程」のもと、家庭や地域と連携し、伝統の継承と創造を実現する学校

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための 方策	評価項目
豊かな心 (徳)	1	多様な他者を尊重し、協働できる児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ、不登校、問題行動のない学校・学年・学級づくり ○東広島スタンダードの定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年・学級経営の充実 (情報の共有化と組織的な対応) ・縦割り班活動の充実 無言掃除、無言移動、無言集合の徹底 ・ノーチャイムによる学校生活 ・キラキラカードの活用 ・心のサポーター、スクールカウンセラーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの無言のうち、今年度重点項目目標『無言集合ができた』項目での児童の肯定的評価を80%以上にする。 ・「よくあいさつをする」をする項目での、保護者の肯定的評価を70%以上にする。
確かな学力 (知)	2	主体的、対話的に深く学ぶ児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○個別最適な学び実現 ・指導の個別化 ・学習の個性化 ○協働的な学びの実現 ・対話活動の充実 ○基礎学力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン の視点による授業づくり (場、ルール等) 授業研究を中心とした校内研修等による教師の授業力の向上(指導方法の工夫と改善) GIGA スクール構想の推進(ICTの活用による学びの充実) 探究的な学習や体験活動の充実 自学コンクールの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「○○科(研究教科等)の授業はよくわかる」項目での児童の肯定的評価を90%以上にする。 ○「授業では、友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりしている」項目での児童の肯定的評価を90%以上にする。 ○授業で一人一台端末の利用を「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合を85%以上にする。

たくましい体 (体)	3	健康でたくましい心と体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい生活習慣の確立と質の向上 ○食に対する意識の向上 ○体力, 運動能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の充実 ・生活リズムの確立 ・食育の推進 ・給食指導の充実 ・体育科授業の充実 ・体育的行事の工夫 	<p>「運動やスポーツに取り組んでいる」項目での, 児童の肯定的評価を 85%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○残食率 2.3%以下 ○「体育科の授業は楽しい」の項目での, 児童の肯定的評価を 85%以上にする。
地域とともにある学校づくり	4	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者, 地域と連携した「共育」の推進 ○「働き方改革」の推進(業務改善) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会制度の活用(地域団体との交流, 学校支援ボランティアの活用) ・学校教育活動に関する情報発信の充実 ・業務改善の推進による時間の確保(教職員の協働体制の確立) ・積極的な年休取得奨励(年間行事の見直し, 一斉閉庁日の設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の教育活動内容や児童の様子がわかる」項目での, 肯定的評価を 95%以上にする。 ○勤務時間外在校時間 ・月 55 時間以下(年平均)の教職員を 90%にする。 ○意識調査 ・「所属校は, 働きやすい職場である」での肯定的評価を 90%以上にする。

V 学校評価

1 学校評価システムの組織(構成者を含む)

○構成者

- ・学校自己評価: 学校評価委員会…〔校長, 教頭, 教務主任, 保健主事, 生徒指導主事, 研究主任〕
- ・学校関係者評価: 学校運営協議会…〔学校運営協議会委員〕

2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画(公表方法を含む)

(1) 調査及び自己評価

- 7月…学校満足度に関わる意識調査(児童, 保護者), 自己評価
- 1月…学校満足度に関わる意識調査(児童, 保護者), 自己評価

(2) 学校関係者評価【学校運営協議会】

- 第1回 令和7年 5月…授業参観及び学校運営基本方針の承認
- 第2回 令和7年10月…授業参観及び学校自己評価に基づく学校運営評価(前期)
- 第3回 令和8年 2月…授業参観及び学校自己評価に基づく学校運営評価(最終)

(3) 評価結果の公表

- ・学校自己評価並びに学校関係者評価の公表
- ・今後の改善策の公表

<評価結果の公表方法: 学校ホームページ, 学校だより等>